

石巻市の現状について

1 背景

自殺の背景には、精神保健上の問題だけでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因があるとされています。

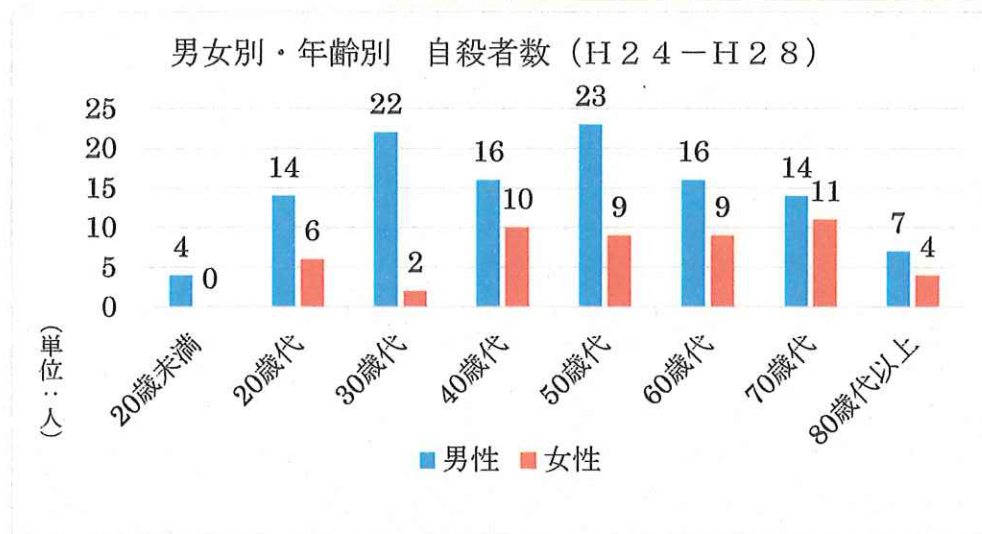
厚生労働省資料より自殺の危機要因イメージ図（2-1）

2 現状

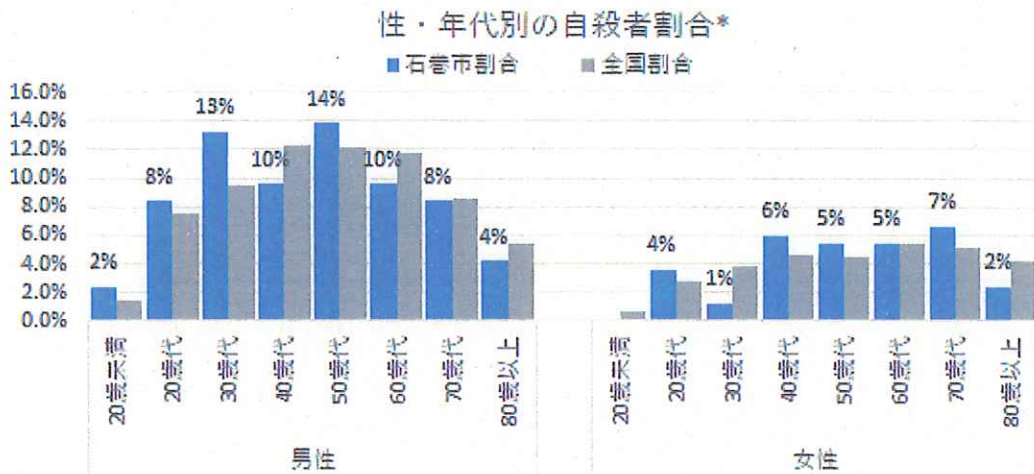
自殺死亡率の推移（2-2）

本市自殺者数

H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
4 1	4 5	3 6	3 5	4 2	3 1	2 9	3 0	3 3



出典：内閣府・厚生労働省「地域における自殺の基礎資料（自殺日・住居地）」



※全自殺者に占める割合

出典：地域自殺実態プロフィール（JSSCより提供）

H 2 4～H 2 8年までの5年分の自殺者数をみると、50歳代男性が一番多い。

H 2 9年でも自殺者数33人のうち、50代男性は13人（39.4%）だった。

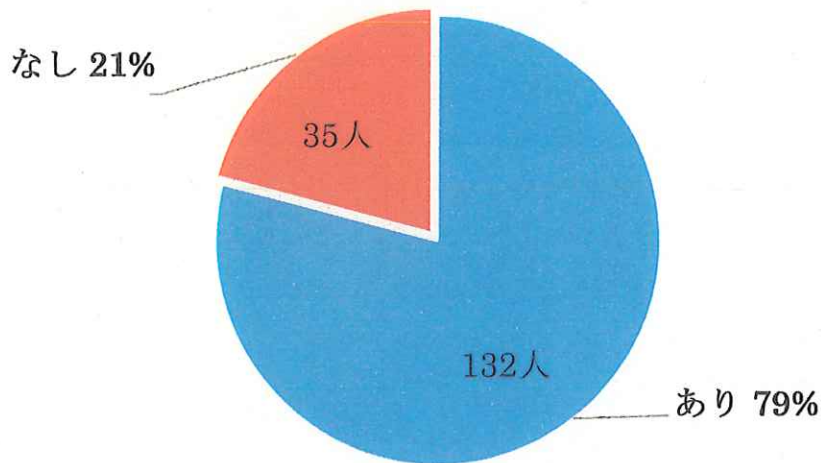
性・年代別に全国の自殺者割合と比較してみても、本市は30歳代と50歳代男性が高くなっている。

また、過去同年5年分の原因・動機別(複数回答可)をみると、上位は①健康問題、②家庭問題、③経済・生活問題、④勤務問題の順番だった。

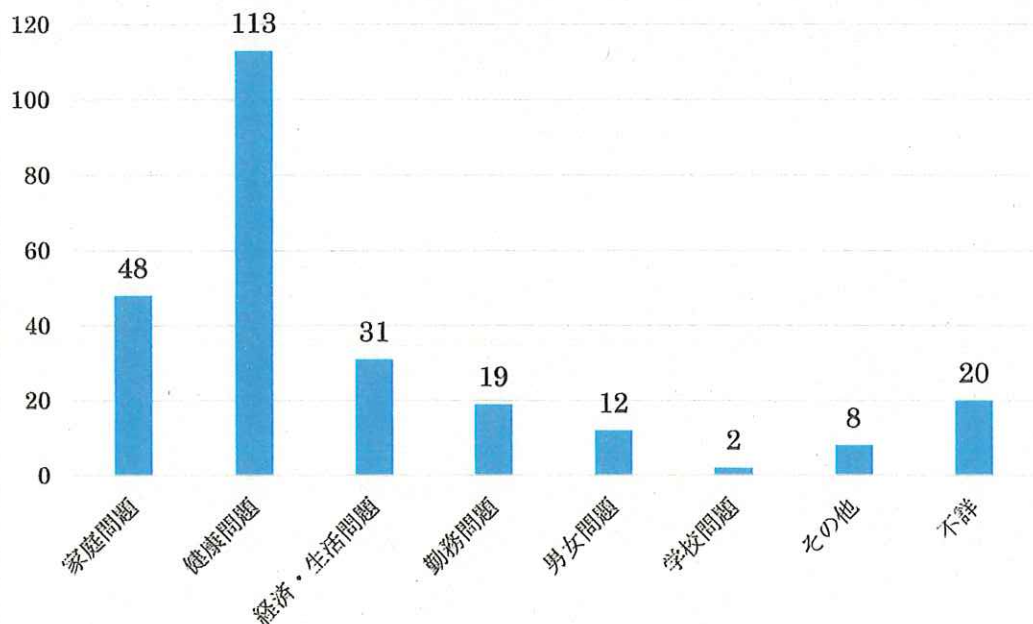
(例) 40歳～59歳男性有職同居の主な自殺の危機経路としては、配置転換→過労→職場の人間関係の悩み+仕事の失敗→うつ状態→自殺

出典：地域自殺実態プロフィール (JSSCより提供)

同居人の有無 H24~28 (単位：人)



石巻市の原因・動機別 H24~28 (単位：人)

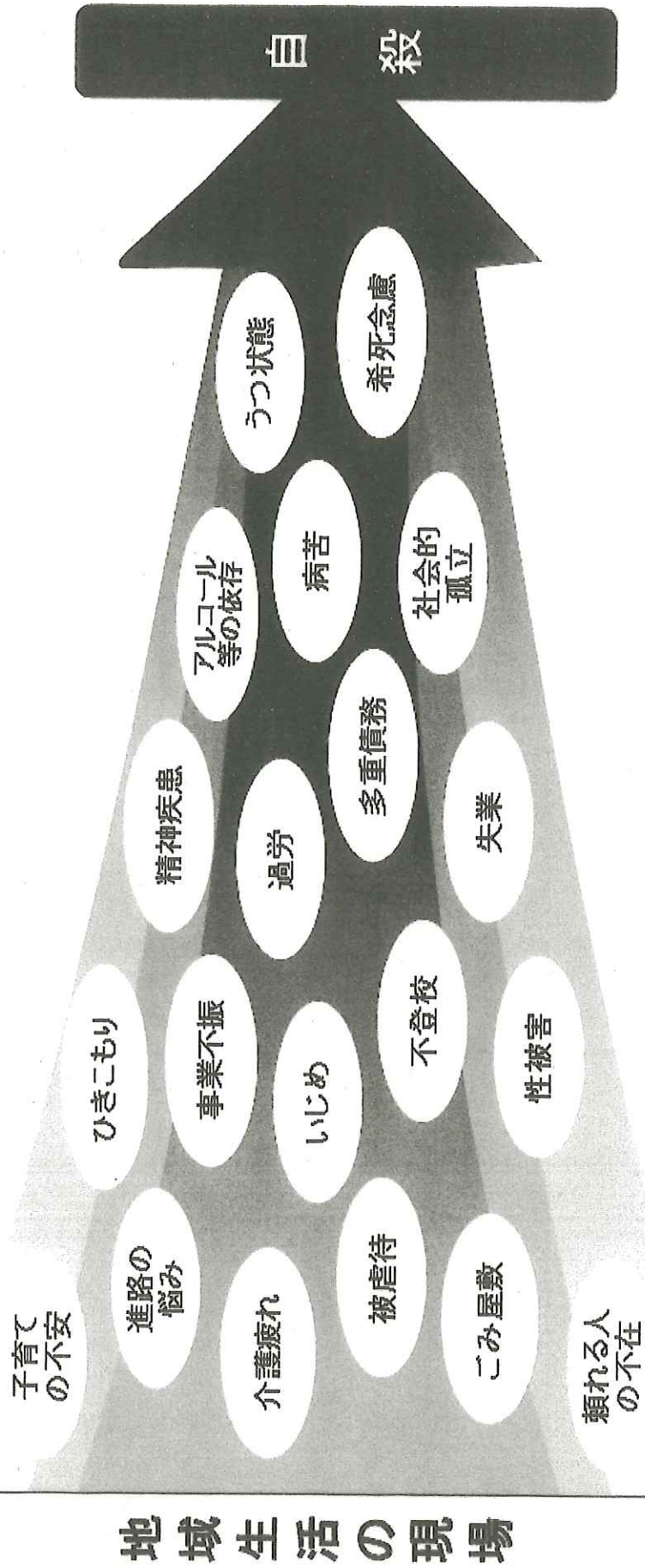


出典：内閣府・厚生労働省「地域における自殺の基礎資料(自殺日・住居地)」

注) 遺書等の自殺を裏付ける資料により明らかにできる原因・動機を自殺者一人につき3つまで計上可能としているため、原因・動機特定者の原因・動機別の和と原因・動機特定者数とは一致しない。

自殺の危機要因イメージ図 (厚生労働省資料)

- 社会が多様化する中で、地域生活の現場で起きる問題は複雑化・複合化している。
- 複雑化・複合化した問題が最も深刻化したときに自殺は起きる。「平均4つの要因(問題)が連鎖する中で自殺が起きている」とする調査※もある。



※『自殺実態白書2013(NPO法人ライフリンク)』

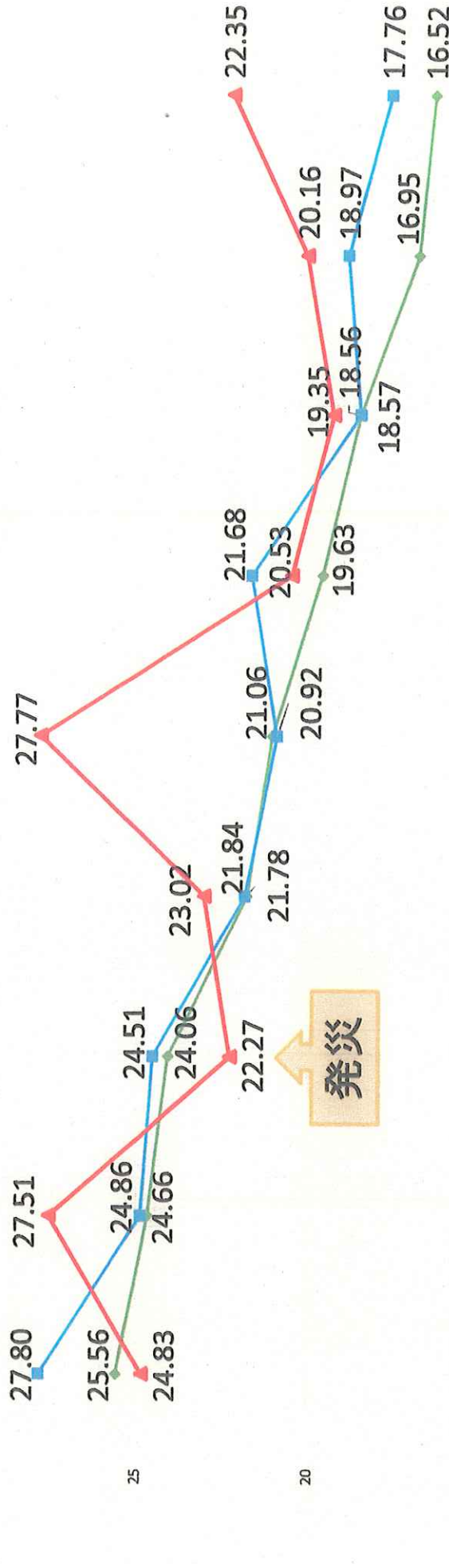
自殺死亡率の推移

30

25

20

15



15

- 全国
- 宮城県
- ▲ 石巻市

・自殺死亡率：人口10万人あたりの自殺者数を示す(自殺者数÷人口×10万人)

・統計データは、内閣府・厚生労働省 地域における自殺の基礎資料 自殺日・住居地の確定値より抜粋

※平成23年石巻市自殺死亡率については、自殺総合対策推進センター提供